

(別紙様式)

平成30年度 赤穂市学校評価報告書

学校名	赤穂市立有年小学校
-----	-----------

1 本年度の学校経営方針

◆ 学校教育目標	「ふるさとを愛し、夢を育む児童の育成」～自ら考え、行動できる子～
◆ めざす児童像	夢を育み、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を身につけた児童
◆ めざす教師像	実践的指導力の向上に努める教師
◆ めざす学校像	認める言葉・ほめる言葉があふれる学校

2 本年度の学校重点目標

1	児童のよさを伸ばし、自尊感情を高める指導の充実
2	基礎・基本の徹底と、達成感のある学習指導の工夫
3	児童一人一人の内面への共感的理解に基づく生徒指導の充実
4	児童と向き合う時間を確保する業務改善と勤務時間適正化の推進
5	児童が安心して安全に生活できる校内環境の整備
6	気持ちのよい挨拶をはじめとした基本的生活習慣の確立
7	地域との信頼関係を基盤に据えた「地域とともにある学校」の推進

総合的な学校関係者評価

本年度よりコミュニティ・スクールの指定を受け、学校運営協議会においてアンケートをとるとともに活動状況について意見聴取をした。
・ 学校を訪問するといつも校内や室内の整理整頓が行き届き、清掃の良さが見られて気持ちが良い。
・ 学校行事は地区行事や個人の所用等で参加が難しいことがあるが、学校だより「こまどり」やPTA だより「わかあゆ」等で学校の様子がよく分かりありがたい。
・ 子供達の挨拶が非常に良く、下校時なども下級生をいたわる行動が見られたり、見守り隊の人にきちんと礼を言うなど、感じが良い。
・ 小規模校の良さを生かした教育が充実している。行事でも一人一人が主役となって輝いている。
・ オープンスクールなどで授業を参観すると、全員が参加していて一人一人が何度も発言している様子を目にし、学力の定着に理想的な教育環境であると思う。

3 自己評価結果 (A～D) A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

観 点 (重点目標)	評 価 項 目 (学校・教師の取組) 評 価 指 標 および 目 標 値 (期待される姿)	評価資料	達成状況	改善の方策
確かな学力	項目 主体的・対話的で深い学びを保障する授業づくり 指標 めあてとまとめを配置し、見通しをもって学べる授業	アンケート 観察	A	・有年小スタンダード授業等、全校統一した取組を推進する。 ・自主学習の進め方をより具体的に指導する。 ・支援を要する児童の情報共有を充実させ、記録化する。 ・キャリアノートの内容を学年間で交流する。 ・電子黒板の有効活用を推進する。
	項目 確かな学力の定着 指標 家庭学習の手引き、学習タイム、読書タイム	アンケート テスト・ノート		
	項目 特別支援教育の充実 指標 個に応じ、指導計画に基づいた指導	アンケート 記録		
	項目 キャリア教育の推進 指標 キャリアノートの活用	アンケート ノート		
	項目 I C Tを活用した授業改善 指標 電子黒板やタブレットの効果的活用	アンケート 観察		
豊かな心	項目 道徳教育の充実 指標 道徳の時間（年間35時間）の確実な実施	アンケート 記録	A	・「第〇回道徳」と板書することと毎月のカリキュラムチェックを継続する。 ・情報モラルに関する指導を充実させる。 ・毎月のアンケートに頼らず、きめ細かく児童観察に努め、いじめの芽を適切に指導する。
	項目 人権教育の推進 指標 互いを尊重し合い心の居場所となる学級づくり	アンケート 観察		
	項目 いじめ・不登校問題への積極的な対応 指標 いじめ対応マニュアルに基づく早期発見・早期対応	アンケート 記録		
	項目 開発的生徒指導の推進 指標 児童の内面理解に基づくカウンセリングマインドの実行	アンケート 観察		
健やかな体	項目 体育・保健学習の改善・充実 指標 体育のあゆみの活用、業間マラソンの年間実施	アンケート 観察	A	・体育のあゆみや年間を通した業間マラソンでめあてをもたせる。 ・ボールなどの遊び用具を整備し、遊ぶ時間を確保する。 ・運動強化週間により取組の充実を図る。
	項目 日常的な運動や遊びの奨励による体力づくり 指標 全員遊び、縦割り班遊びの継続	アンケート 観察		
	項目 家庭と連携した生活習慣の改善と確立 指標 早寝早起き朝ごはん運動の啓発と充実	アンケート 記録		

学校関係者評価

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

自己評価は 適切か	改善方策は 適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	・「くぼっち文庫」をはじめ新しく魅力的な本が図書室や各教室にも配置され、子ども達の読書活動の日常化が図られている。図書室のカーペットも新調され、気持ちよく読書できる環境が整っている。ボランティアやPTAによるブックママも継続してほしい。
◎	◎	・今年は特に子供達の挨拶の声が大きくなり、礼儀正しく挨拶のできる子供が増えた。子ども達の元気な姿に触れて、地域の人々も大変にうれしい。挨拶のよくできる子を誉めたい。もっと増えてほしい。
◎	◎	・年間を通した業間マラソンの成果がマラソン大会ではっきりと感じ取ることができる。 ・家が遠いため、帰宅後はほとんど友達同士で外遊びができない。学校でしっかりと遊んだり体を動かしたりできる時間を確保してやってほしい。

	項目 指標	健康・安全面の充実 感染症やケガの予防、教育相談の充実	アンケート 記録		・教育相談体制や感染予防について啓発を進める。
安全・安心	項目 指標	危機管理体制の確立 マニュアルの改善と研修、安全点検	アンケート 記録	B	・安全点検の確実な実施と速やかな報告を習慣づける。 ・各自が退勤前の教室点検を習慣づける。 ・放送内容や掲示物を定期的に点検する。 ・「三つの約束」を児童会に働きかけ、主体的な取組を促す。
	項目 指標	学習環境の整備 花や観葉植物がある、心安らぐ教室環境	アンケート 観察		
	項目 指標	言語環境・掲示物の整備 情操を培う落ち着いた校内放送、整った掲示環境、	アンケート 観察		
	項目 指標	校内美化活動の推進 自己を見つめ心を育む無言清掃	アンケート 観察		
	項目 指標	教師力の向上 互いに日常的に学び合うOJTの実施と校内研修	アンケート 観察		
学校組織力	項目 指標	教職員の協働体制の確立 報告・連絡・相談と、目に見える素早いレスポンス	アンケート 観察	A	・研究授業を計画的に実施する。 ・保護者や地域の声に素早く目に見える対応をする。 ・評価結果の経年変化を追い、PDCAサイクルの活性化を図る。 ・勤務時間適正化のポスターを掲示し、重点項目は必ず実行する。 ・ハラスメント防止担当者を校務分掌に位置づけ、職場環境の維持向上に努める。
	項目 指標	学校評価の改善・充実 学校経営方針に則った実践と評価の一体化	アンケート 記録		
	項目 指標	学校業務改善と効率化 定時退勤日の完全実施、記録簿による勤務管理	アンケート 記録		
	項目 指標	職場環境の維持・向上 労働安全衛生委員会を中心とした実態把握と改善	アンケート 記録		
	項目 指標	情報教育の充実 ネットリテラシー、情報モラル教育の推進	アンケート 記録		
	項目 指標	福祉教育の充実 福祉体験活動の充実	アンケート 観察		
課題教育	項目 指標	グローバル化に対応した教育の充実 外国語活動、アートマイル活動、ふるさと学習の充実	アンケート 記録	A	・ネットリテラシー・情報モラルの指導を複数回行う。 ・福祉関連の図書を充実させ、知的理解も進める。 ・中学年におけるアルファベットの確実な習得を図る。 ・専門家や地域ボランティアと連携した体験活動を進める。 ・防災備蓄倉庫の点検と備蓄消耗品の活用を進める。 ・稲作文化に根ざす伝統文化のカリキュラム化を図る。
	項目 指標	環境教育の充実 地域の里山や川での体験活動	アンケート 児童ノート		
	項目 指標	防災教育の充実 地域水害の教訓を生かした防災訓練	アンケート 児童ノート		
	項目 指標	地域に根ざす教育の充実 地域の伝統文化を教育課程に位置づけた学習の充実	アンケート 児童ノート		
	項目 指標	コミュニティ・スクールとして地域とともにある学校 地域人材の活用、地域行事への参加	アンケート 観察		
	項目 指標	積極的な情報発信 各種お便り・ホームページ・参観日等による発信	アンケート 記録		
	項目 指標	地域関係機関との連携 学校運営協議会組織の立ち上げ準備	アンケート 記録		
コミュニティ・スクール	項目 指標	コミュニティ・スクールとして地域とともにある学校 地域人材の活用、地域行事への参加	アンケート 観察	A	・地域住民へのオープンスクールの呼びかけを進める。 ・挨拶等により地域住民と児童との「顔見知り化」を進める。 ・関係機関代表者への協力要請を進め、学校応援団を組織する。
	項目 指標	積極的な情報発信 各種お便り・ホームページ・参観日等による発信	アンケート 記録		
	項目 指標	地域関係機関との連携 学校運営協議会組織の立ち上げ準備	アンケート 記録		
	項目 指標	コミュニティ・スクールとして地域とともにある学校 地域人材の活用、地域行事への参加	アンケート 観察		

◎	◎	・学校を訪問した時に少し気になった箇所を知らせると、次来た時にはきれいに修繕されていることが多かった。 ・校区内の危険箇所マップが毎年更新され配布されている。続けてほしい。
◎	◎	・行事のたびに先生方の一体感のある動きを見て、うれしく感じている。 ・水曜日が定時退勤日であることはプリントでお知らせがあった。先生方にはいつも元気で生き生きと子供達の前に立ってもらいたい。
◎	◎	・有年は水害で大きな被害を受けた歴史があるので、日頃からの心構え、備えが大切である。防災教育については、幼稚園、中学校との合同の津波避難訓練や地震を想定しての避難訓練など大切なことに取り組んでいる。 ・幼小中合同の防災訓練には、地域の方をゲストティーチャーとして、迎えるなど工夫があればよいと考える。
◎	◎	・学校運営協議会が円滑に発足し、定例会（3回）、臨時会（1回）、有年・原合同会（1回）と実施できた。 ・有年小の学校規模の良さを生かした教育の一層の充実に向けて、地域ぐるみでバックアップしたい。

自己評価における特記事項	
※ 達成状況の評価は、教職員の自己点検を点数化し、平均点を3段階で表している。（4点満点） A 3．5以上 B 2．8以上3．5未満 C 2．0以上2．8未満 D 2．0未満	

項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法	
・新学習指導要領の完全実施まであと1年と迫った。英語教育をはじめ、さまざまな改革が円滑に進むよう努力してほしい。 ・地域の稲作文化に根ざす伝統文化の学習を一層充実し、その成果を広く発信してほしい。	